

目標達成計画

作成日: 令和 4 年 6 月 13日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	電気錠がかかっている事で利用者様が自由に外に出る事が出来ない事で、精神的な負担をさせてしまっている現状がある。実際には防犯の目的でつけているものだが、利用者様の抑制の1つになりかねない	電気錠を使用せずに、外に出たいといった気持ちがある利用者様の支援が出来る。	・見守りが出来る際は電気錠の電源を切り、対応する。 ・電気錠がかかっている際も、外に出たいといった訴えがある際はすぐに対応する。	12ヶ月
2	2	コロナ過の影響により、外部との連携が図りにくくなっている。以前まで行っていた催し物が出来ない状況になっている。利用者様の外部との社会交流が少なくなっているのが現状。	以前と同じように近隣の社会資源を利用していき、外部との交流を図っていく。	・密に連絡を取り、コロナの現状を把握し、出来る催し物を行っていく ・感染対策を講じて行き、施設内外で交流を図っていく。 ・地域の会議等に参加し、参加できる催しもに参加していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。